

「人と動物の絆」を守る ホームドクターをめざして 散歩の途中で一休みできるサロンに

JOY動物病院



HABを大切に、コミュニケーションを重んじる九鬼院長

で心身の安定を図るアニマル・セラピーの一環としても、HABの考え方は注目されている。獣医師は最初のコンタクトでご家族と動物とのバックグラウンドについてどれだけ詳しく知ることができかを重要視し、高いコミュニケーションスキルを駆使しなくてはならない。

「動物病院は敷居が高いと敬遠されている方も多いと思いますが、当院は散歩の途中で立ち寄って遊んで帰るサロンのような存在をめざしています。人が今まで動物と暮らすことを望み癒されていると感じてきたように、動物も心地よいと感じ人と一緒にいたいと思ってくれるよう、私たち獣医師はそんな人と動物との見えない絆を守りサポートするために存在しているのです」と九鬼院長は語る。

JOY動物病院(世田谷区東玉川、九鬼正己院長、03・6425・9977、<https://joy9.jp>)は、東急東横線田園調布駅から徒歩7分の住宅地にある動物病院である。玄関先に並ぶ色とりどりの草花が植えられたプランターや木目調のドアなど、一見隠れ家風のカフェのよう。待合室もご家庭のリビングでくつろいでいるような居心地のよさだ。

九鬼院長は「動物と一緒に生活しているご家族の方が不安なく暮らせるようにお手伝いし、社会に貢献すること」という経営理念のもと、日々の診療にあたっている。

人が犬や猫と生活し病気になるれば心から心配して病院に連れていくのは、「ヒューマンアニマルボンド(HAB) Ⅱ人と動物の絆」があるからだ。家族のように動物と触れ合うこと



リビングのような居心地のよい空間づくりをめざしている